

1 研究テーマ

意欲をもって進んで表現する児童の育成 ～思いや考えを広げる授業の展開～

2 研究の目的

- (1) 図工科を通じた知識・技能の習得と思考力・判断力・基礎学力の向上
- (2) 基礎基本の定着を図る工夫

3 研究の実際

(1) 研究の方向

図工科の研究を2年間行う予定であるが、本年度は1年目であり、研究を始めるにあたって、児童や教員の思いや願いについてアンケートをとった。

その結果

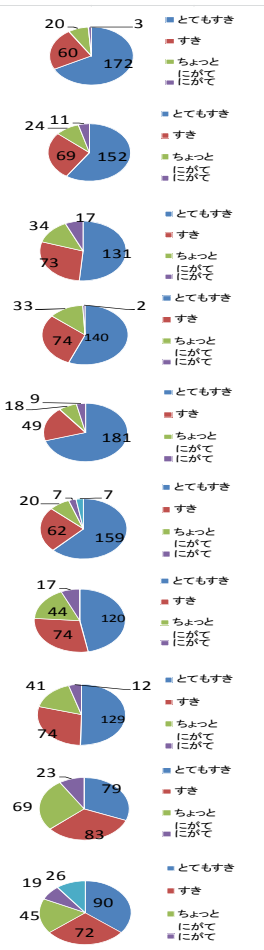
- ① 児童は図工が好きであり、楽しく取り組んでいるが、どんなものを描いたり作ったりするか考えること、道具をうまく使うこと、友達と話し合うこと、名画を見たり生活に生かしたりすることなどに苦手意識をもっている。
- ② 児童がうまくなりたいのは、苦手意識のあるどんなものを描いたり作ったりするか考えること、道具をうまく使うこと、鑑賞や友達と話し合うことである。
- ③ 教員が行いたい研究は、発想や構想の能力を高める指導が多く、絵や版画、鑑賞の指導、また教員自身が技能を高めたり、支援の方法についても行いたいと考えている。

ことなどがわかった。

これらを踏まえ、研究授業を中心に研究を重ねた。

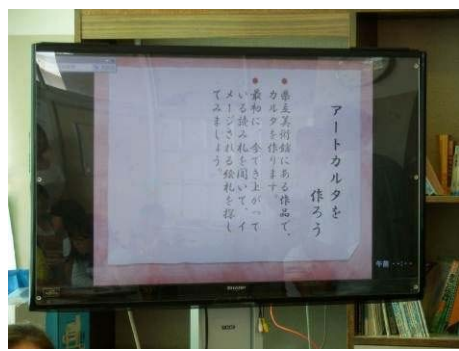
図工科アンケート		やってみた
1	絵の指導	8
2	版画の指導	5
3	工作の指導	1
4	発想や構想の能力を高める指導	13
5	創造的な技能を高める指導	4
6	鑑賞の指導	6
7	図工科での言語活動	4
8	その他やってみたい研修 絵画 工作 版画などの基本的技術を学びたい。 支援のためにどのように声掛けしたり助言したりしたらよいか知りたい。	
昨年度の話し合いから	①指導方法のポイント ②子どものイメージを作品に反映させる方法と工夫 ③鑑賞と評価 ④子どもの創造力を高めるより良い手段・言語活動 ⑤道具の正しい使い方と基本的な技術の教え方 ⑥導入の工夫 ⑦意欲をもって進んで表現するために ・教材の開発 ・制作のための環境整備・充実 ・教師や子どもの作品を見る目を育てる	

図工アンケート		1の1	1の2	2の1	2の2	3の1	4の1	4の2	5の1	5の2	6の1	6の2	計
1 図工の時間は好きですか？	とても好き	17	14	18	17	32	18	15	11	14	10	6	172
	好き	0	6	1	3	6	4	6	7	4	9	14	60
	にがて	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
2 絵を描くことは好きですか？	とても好き	17	17	18	17	20	12	13	12	11	6	9	152
	好き	1	3	3	3	10	9	9	6	6	8	11	69
	にがて	0	1	0	1	3	2	1	1	1	1	0	11
3 版画は好きですか？	とても好き	16	11	15	18	22	7	7	11	14	5	5	131
	好き	2	5	2	3	13	11	8	4	4	11	10	73
	にがて	1	1	3	0	4	4	7	6	0	4	4	34
4 粘土を使って作品を作ることは好きですか？	とても好き	16	10	20	14	29	12	11	6	13	5	4	140
	好き	2	3	1	5	10	11	11	11	8	6	6	74
	にがて	1	2	0	2	1	0	2	4	0	10	11	33
5 工作は好きですか？ (紙やはさみやカッターなど、木や板や針金や缶など)	とても好き	18	17	20	18	33	19	16	10	13	11	6	181
	好き	0	2	0	3	2	3	8	7	6	8	10	49
	にがて	1	0	0	0	3	1	1	3	1	3	5	18
6 友だちといっしょにせいさくすることは好きですか？	とても好き	15	13	16	19	22	16	10	13	15	7	13	159
	好き	2	4	2	2	12	6	7	4	5	11	7	62
	にがて	2	1	0	0	3	2	5	2	1	3	1	20
7 どんなものを描いたり作ったりするか考えることは好きですか？	とても好き	15	12	8	15	20	11	10	12	4	7	6	120
	好き	2	0	5	5	12	10	7	5	7	10	11	74
	にがて	1	5	5	1	4	3	5	3	9	4	4	44
8 道具をうまく使って描いたり作ったりできますか？	とても好き	16	15	17	16	25	11	10	8	4	3	4	129
	好き	3	5	0	2	11	9	7	10	9	11	7	74
	にがて	0	1	2	2	3	3	8	2	5	7	8	41
9 自分の作品の説明をしたり、友だちの作品を見てうまいところや感想を話し合ったりするのは好きですか？	とても好き	12	13	8	11	13	7	2	5	4	1	3	79
	好き	5	2	8	5	14	9	8	8	9	8	7	83
	にがて	2	5	2	3	10	4	12	6	5	11	9	69
10 名画を見たり自分で作ったものや美しいものを身の回りに置いたりしていますか？	とても好き	15	16	11	17	13	3	1	6	6	0	2	90
	好き	0	0	2	1	15	6	9	10	9	11	9	72
	にがて	4	2	1	3	3	5	9	3	1	9	5	45
		0	4	6	0	1	8	2	2	0	1	2	26



(2) 授業研究

① 第1回授業研究会 (要請訪問 指導者は市教委の宇賀神俊彦先生) 【2年 えのぐじま】 【6年 『アートカルタ』をつくろう】



「えのぐじま」を描くことに興味や意欲をわかせるよう手紙を使って導入したり、イメージを広げるために友達の作品を鑑賞して感想を伝え合った。共同絵の具を使って描く方法で行った。

能動的に鑑賞するために、アートカード作品の色彩や形の特徴をとらえ、作品の世界観やイメージを自分なりに想像してカルタの読み札を作った。本時をスモールステップとして美術館での鑑賞につなげた。

② 第2回授業研究会 【1年 はるはる おはながみのえ】

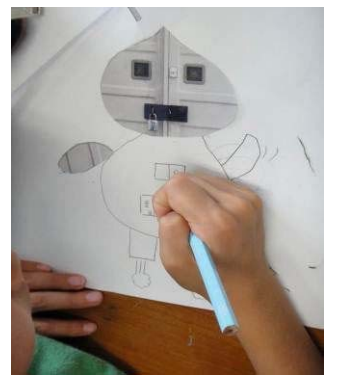
【6年 動き出すストーリー】



素材を十分に用意し、自由に選ぶことができるような場の設定を行った。お花紙の使い方や貼り方等の資料を掲示し、児童が自分の思いに合った表現方法を見つけたり、イメージを膨らませたりできた。

動く仕組みにイメージしたものの絵を貼ったりはがしたりして動かした。試行錯誤する中で、発想することを苦手としている児童も何度も考え直すことができ、納得のいく作品づくりへの意欲をもたせられた。

③第3回授業研究会(要請訪問 指導者は市教委の宇賀神俊彦先生)【1年 うつしてあそぼう】 【5年 『そのぼ』くん 登場】



大きな紙で、グループで共同で制作する活動を行った。型押しをして自由に遊ぶ途中で、自分の作品や友達作品を見たり、何に見えるか確認して伝え合ったりしてイメージを広げた。

「そのぼ」くんのキャラクターを考える際、外見を描くだけでなく、プロフィールに必要な項目を話し合ったことで児童のイメージを広げることができた。

④第4回授業研究会 【4年 つくって、つかって、たのしんで】



1枚の板を切り分け、切り分けた板を組み合わせて自分の作りたい作品のイメージを持ち、ガムテープを使って工夫しながら立体的に組み立てた。宇大の山口喜雄先生にご指導をお願いしたが、その講評の中で、自由な発想には、無いところから生み出すだけでなく、いくつかの選択肢を掲示したり準備したりしてその中から選択してもよいようにしたり、失敗しても大丈夫と補償することで児童は安心して活動できる。また、事前に、児童がつまづきそうなところを支援できるように、十分な教材研究を行えるとよいことなど伺った。

下絵に合わせながら、様々な形作りをしたり色セロハンを貼ったりした。児童は、自分で選んだ空き箱の中に、片面段ボールのテープやセロハンを自由に選んで自分の世界を作った。貼っては、光を透かして確かめた

⑥第6回授業研究会 【2年 キラキラシャボンで】



【5年 線を集めて】



前時に一人一人が思いのままに楽しくシャボンで模様を作った。そこからグループでの話し合い活動を入れ、自分の考えを深めたり友だちのアドバイスからイメージをふくらませたり広げたりした。

紙バンドを編んだり組んだり曲げたりしてできる形を、グループで上からつなぎ、一つの飾りにした。材料を豊富に準備し自由に使えるようにした。友達と見合って、表現するのが苦手な児童も意欲的に取り組んだ。

(3)職員研修

ホットボンドを使って・・・校内にあったホットボンドを使って作品作りを体験した。

(4)図工室の環境整備

図工室の工作台や椅子が古く、床が凸凹であり、危険で使いにくく、改修等が必要であった。市教育委員会に、数年来現状を訴えてきたこともあり、床の改修・換気扇の交換・椅子の更新等が実現された。工作台については、予算にも限りがあり、すぐには実現困難な状況にあったが、「加藤山崎教育基金」の教育現場支援プロジェクトに応募し、更新することができた。



4 まとめ(○成果と●課題)

2年間の1年目が過ぎたところであるが、全学級で研究授業と授業研究会を行った。その積み重ねによって、図工の研究授業をほとんど見たことのないと言っていた教員も、少しずつ図工の授業の見方がわかるようになってきたり、普段の授業もどうやったらよいか相談し合ったりする雰囲気になってきた。1年間の成果と課題を基に、さらに研究を進めたい。

- 「発想構想の能力」の研究を中心に行ったので、児童のイメージの持たせ方や広げ方などに理解が深まった。
- 児童が、活動を通して意欲をもって取り組むことができるよう、題材の始めに材料や活動の体験時間を取り入れたが、それによって見通しをもって活動できるようになった。効果的な取り方や時間の取り方についても考えたい。
- 本年度は評価や技能、言語活動についての研究は十分ではなかったため、それらも研究に取り入れていきたい。
- 図工の研究が中心になってしまい、4年間継続している基礎基本の定着が十分でなかったため、研修の中に取り入れていきたい。



ワークショップ型授業研究会の様子